

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) Number 3

※動画で用いるスライドはPDFで動画下にリンクで貼り付けています

⑥高校生の学び成長するための『大学選び』 ー大学がアクティブラーニング型授業を 積極的に推進しているかを調べるー (前編)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 学長・教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年准教授、2014年教授を経て、2019年4月より現在に至る。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



前回（④⑤）ではPoint2のお話をしました

溝上慎一（2021）. 高校生の学びと成長に向けた 「大学選び」ー偏差値もうまく利用するー 東信堂

第1部 自身の「大学選び」の質を高める5つのポイント

第1章 Point 1 将来の見通しを持つ

第2章 Point 2 「大学で何を学びたいか」からではなく、「将来どのような職業に就きたいか」から「学部選び」を行う

第3章 Point 3 大学がアクティブラーニング型授業を積極的に推進しているかを調べる

第4章 Point 4 偏差値をうまく利用する

第5章 Point 5 三大都市圏以外の大学を選択肢に含める

第6章 （おまけ）中小企業は面白い！
——ここから職業、「大学選び」を考えてみる

第2部 高校生からの質問に答える



Point2に対する質問

Q「キャリア教育で就社の意味をもっと考えさせないといけませんね」

→就社は、

②理科系～、③～総合職・一般職、いずれも同じです。

vs 就職

その他

・「その通りでしょう」というコメントも多くもらっています

溝上慎一 (2021). 高校生の学びと成長に向けた「大学選び」—偏差値もうまく利用する— 東信堂

第1部 自身の「大学選び」の質を高める5つのポイント

第1章 Point 1 将来の見通しを持つ

第2章 Point 2 「大学で何を学びたいか」からではなく、「将来どのような職業に就きたいか」から「学部選び」を行う

第3章 Point 3 大学がアップサイジング授業を積極的に推進しているかを調べる

第4章 Point 4 偏差値をうまく利用する

第5章 Point 5 三大都市圏以外の大学を選択肢に含める

第6章 (おまけ) 中小企業はおもしろい!
——ここから職業、「大学選び」を考えてみる

第2部 高校生からの質問に答える



①（国家等）資格を要する専門職

- ・医学系学部、教員養成系学部
- ・法学部、心理学部など

②理科系の技能系専門職

- ・工学部、農学部、理学部など

③企業や官公庁等の総合職・一般職

- ・基本的にどの学部に進んでもなれます

本日はPoint3のお話をします

溝上慎一 (2021). 高校生の学びと成長に向けた 「大学選び」—偏差値もうまく利用する— 東信堂

第1部 自身の「大学選び」の質を高める5つのポイント

第1章 Point 1 将来の見通しを持つ

第2章 Point 2 「大学で何を学びたいか」からではなく、「将来どのような職業に就きたいか」から「学部選び」を行う

第3章 Point 3 大学がアクティブラーニング型授業を積極的に推進しているかを調べる

第4章 Point 4 偏差値をうまく利用する

第5章 Point 5 三大都市圏以外の大学を選択肢に含める

第6章 (おまけ) 中小企業は面白い!

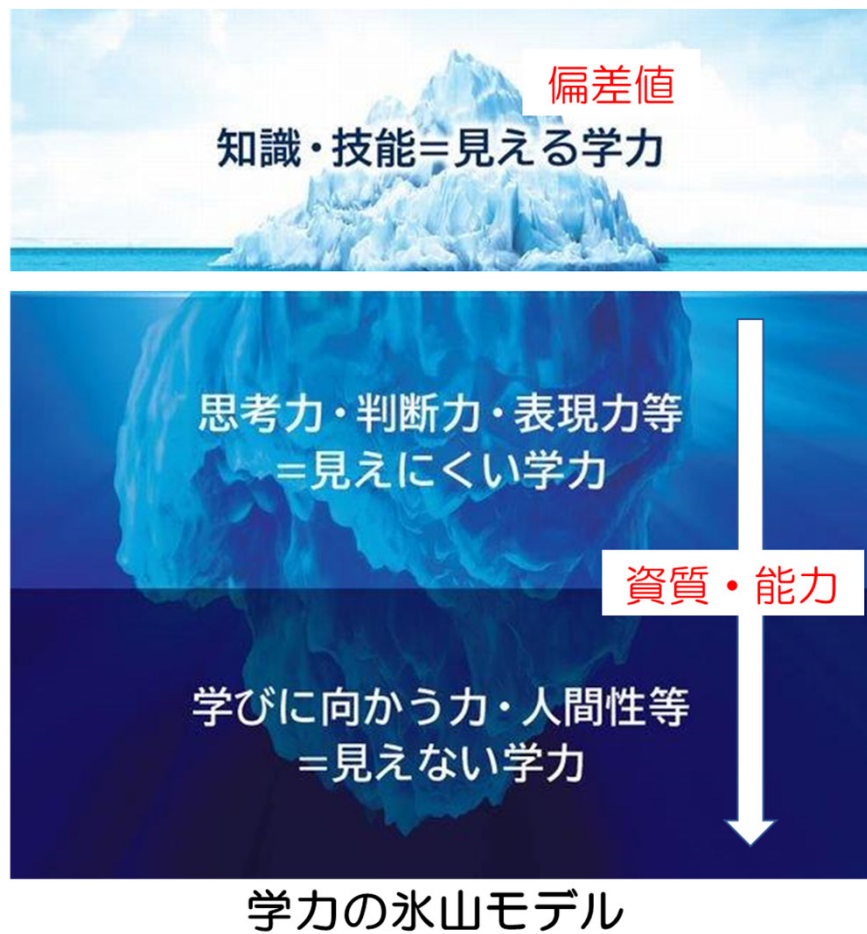
——ここから職業、「大学選び」を考えてみる

第2部 高校生からの質問に答える



<Point3> 大学がアクティブラーニング型授業を積極的に推進しているかを調べる

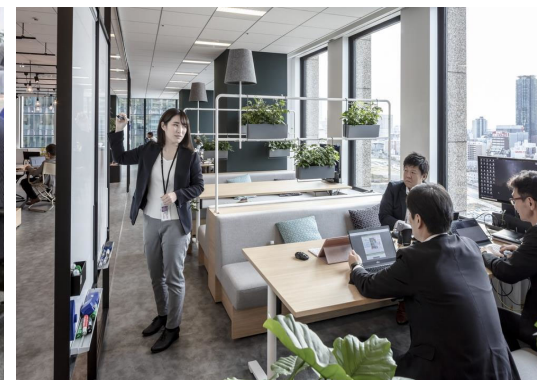
<理由>



偏差値が高くても、良い大学に入っても、コミュニケーションや発表、問題解決の弱い人は就職に苦勞する確率が高いです

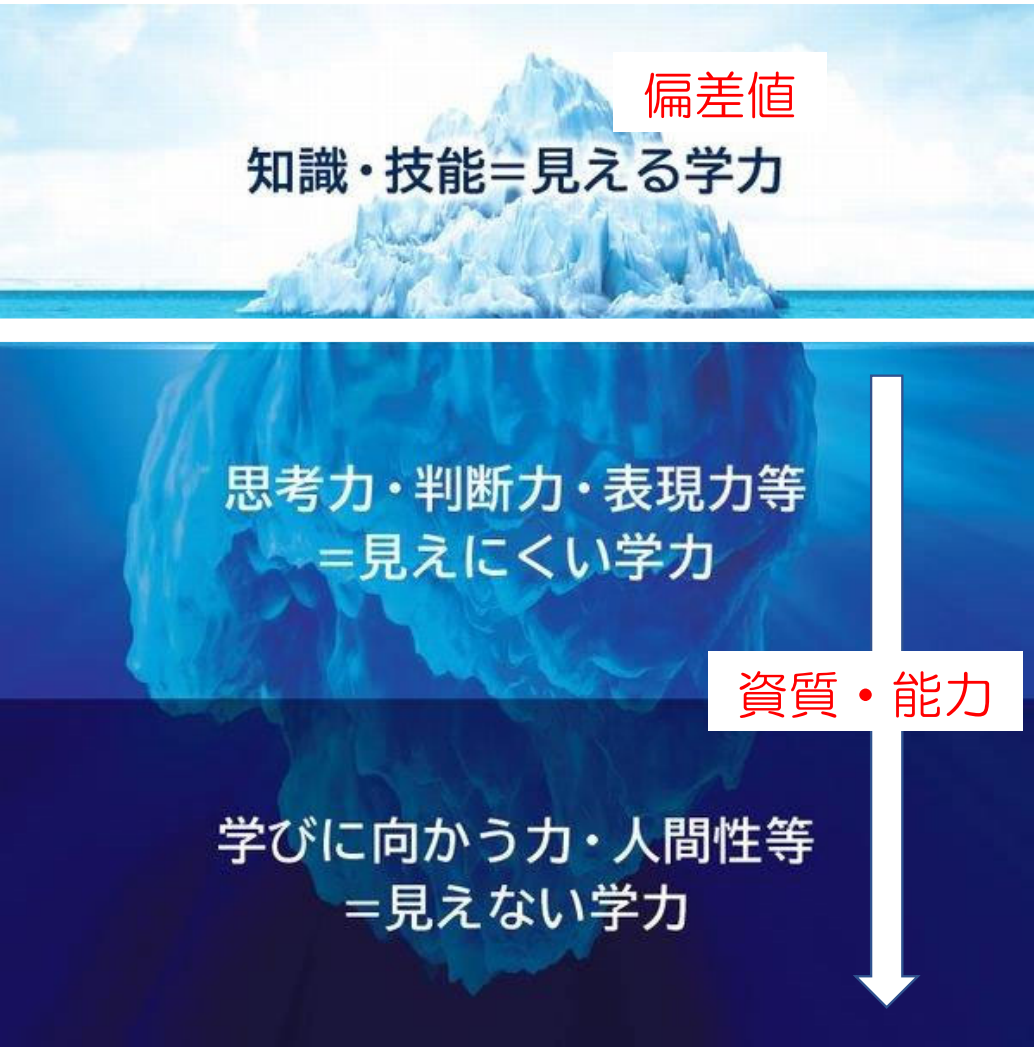


アクティブラーニング



いま全国の大学でも知識だけでなく資質・能力も育てるALが展開中！

(アクティブラーニング)



偏差値

知識・技能＝見える学力

思考力・判断力・表現力等
＝見えにくい学力

資質・能力

学びに向かう力・人間性等
＝見えない学力



聴く(講義)だけでなく、書く・話す・発表もする(AL)

大学がアクティブラーニング型授業を積極的に推進しているかの「調べ方」

①大学のウェブサイトを見る

学生をしっかり育てようと頑張る大学は、まずウェブサイトのホームでそれを伝えようとする

<事例1> 国際教養大学



国際教養大学のウェブサイト（ホーム）

すべて英語の少人数授業

英語で考え、意見を主張できる能力を鍛えます

国際教養大学「すべて英語の少人数授業」

国際教養大学の際立った特長の一つが「すべての授業を英語で開講している」ことです。ただし、本学は「英語を学ぶ大学」ではありません。「英語で学び、英語で考える大学」です。

大切なことは、自分が学びたい分野を見つけ、それを深めていくこと。「知識」を修得した上で、世界を舞台に「自らの言葉」で発信し、行動できる力を身に付けることです。英語はそのツールにすぎません。

また、本学は2004年の開学以来、一貫して少人数教育を徹底しており、1クラスあたりの受講者数は18名程度が平均です。これもまた、教員と学生のコミュニケーションの機会を増やすことにより、自ら考え、意見を主張できる能力を磨いてもらうことを目的としています。

さらに、アカデミック・アドバイジング・システムなど一人ひとりの学生をきめ細かくサポートする体制も整えています。大学が課す厳しい学業基準を達成するたびに、みなさんの自律心、積極性、自信、忍耐力が育まれます。これらは、小さな大学ならではの大きな特長と言えるでしょう。

<事例2> 愛媛大学



愛媛大学のウェブサイト（ホーム）



大学がアクティブラーニング型授業を積極的に推進しているかの「調べ方」

①大学のウェブサイト調べる

②オープンキャンパスで直接尋ねる

③国立大学を選ぶ

- ・「アクティブラーニング」を謳わなくても、もともと少人数教育

いま全国の大学でも知識だけでなく資質・能力も育てるALが展開中！

(アクティブラーニング)



18

ご視聴有難うございました
To be continued
チャンネル登録をお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

